Rotary District 2710

ガバナー月信
2021年2月号
vol.08

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLYLETTER

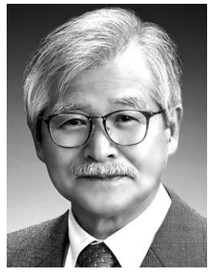
ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 Rotary District 2710 HOFU

Contents

- ●ガバナー挨拶 …… P02
- ●暴力の連鎖を断つ …… P03
- ●ロータリー研究会報告／ロータリー財団地域セミナー報告 …… P04
- ●第3回諮問委員会報告 …… P05
- ●特別コラム …… P06
- ●新会員紹介／出席率 …… P07
- ●地区大会PR／編集後記 …… P08

何を求める風の中ゆく



国際ロータリー第2710地区
2020-21年度ガバナー 脇　正典

昭和10年6月2日に詠まれた句です。昭和6年の満州事変。同7年の上海事変と時代は戦争に向かっていました。同10年には美濃部達吉の天皇機関説が問題となり、きな臭い空気が漂うなか、湯川秀樹が中性子の存在を発表していました。同12年、ついに日中戦争（日華事変）が勃発し、太平洋戦争へと続きました。

昨年11月、江田島RCへの公式訪問は広島宇品港から船で行きました。戦時中多くの兵士が宇品から出航したことを思うと感慨深いものがありました。山頭火がこの句を詠んだ時、時代を感じていたのでしょうか。自分の句作があったのでしょうか。

2月は平和と紛争予防・紛争解決月間です。ロータリーとしてどこまで係られるか難しく大きな課題です。

紛争予防には、相互理解が大切です。国際ロータリーは様々な国・人種・性別を超えて親しくすることができます。多くの友人同士が結び付くことです。そこに米山奨学生に期待すること大です。

ユネスコは教育・科学・文化を通して相互理解し、紛争を防ぐため戦後作られた国連の機関です。

ユネスコ憲章の前文に有名な「戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなくてはならない」とあります。一人ひとりが「何を求める風の中ゆく」という気概で周囲に平和を及ぼす以外にありません。

現在、世界各地で紛争が勃発しています。覇権主義・自国第一主義や民族紛争のため、常に世界のどこかで戦争がおきています。理想と現実の間で世界は苦しんでいます。

しかし、現在喫緊の問題はコロナ感染症への対応です。コロナとの戦争といっても良いかと思います。マスク・手洗い・三密を避ける、換気に心がける等がいわれています。早く収束することを願うばかりです。

さて、公式訪問が終わって次はIMです。昨年は3分の2が中止になり、今年こそはと各ガバナー補佐の皆さんは計画されましたが、コロナ禍のため中止になってしまったグループもあります。

現在のところ（2020年12月16日）IM実施予定は、第1グループが2月14日、第3グループが3月27日、第9グループが3月20日、第10・11グループが3月6日、第12グループが4月18日となっています。残念ながら懇親会はなしで実施を計画されています。夫々工夫され実のある内容ですのでご期待下さい。予定通り実施されることを願っています。

クラブ周年行事の記念式典も計画されていましたが、実施できないクラブや縮小・短縮のクラブがありました。最初は広島稜北クラブの30周年が9月9日でした。徳山東クラブの公式訪問と重なりましたので、ビデオ録画していただきお祝いしました。次いで下関西クラブの50周年が9月12日、呉南クラブの50周年が11月5日にありました。3月・4月には6クラブの周年行事が予定されています。

AIが発達し、自分で判断できるロボットが開発されています。囲碁の世界では名人に勝つこともできるようになりました。戦争に使われると人間にとって脅威です。すでに兵士ロボットが研究されているとも聞きました。人間は遠隔地でスタートボタンを押すだけ。後はロボットが判断し、戦闘を継続するだけというSFまがいの時代がくるかもしれません。恐ろしいことです。

大抵の仕事をAIがするようになれば、人間にしかできない仕事とは何でしょうか。AIは大量の事例を瞬時に判断する能力を持っています。ということは事例がない仕事はできない。人間の仕事は事例のない仕事、個性と独創性を発揮して、自分らしく人と違ったことをすることです。

今年から小学校で始まる学習指導要領は「主体的で対話的な深い学び」が重視されています。どうすれば主体的で対話的な深い学びができるのか。型にはまったマニュアル通りに教えないことです。体験を通して気付かせることです。日本は古来自然のはかない美を愛で、匠の技を極め、心の美しさを磨いた国です（「美・技・心の時代～AIよりも深い学びとは？～」慶応大前野隆司教授『日本教育1月号』所収）。感性と創造性にあふれた精神性の高い心を作ることがこれからの教育に求められなくてはなりません。感性と独創性にあふれた子どもがAIに負けない子です。

暴力の連鎖を断つ

国際ロータリー第2710地区
パストガバナー 晝田　眞三

今の時代、多くの人たちが平和を希求しているにも拘わらず、戦争や内戦がなくならないのが現実です。

島国日本にいると理解しづらいものですが、大陸では国境は時代によって変わってきましたので、未来永劫、国境は固定されているとの認識は持てないのでしょう。そうなると「取った、取られた」の諍いが果てしなく続くことになり、暴力・戦争へと広がっていきます。北方領土について、ロシアは”第二次大戦の戦利品”だとして返還には応じないのは同様な発想です。

またイスラム国（ISIL、イスラム過激派組織）のように暴力によって人を恐怖に陥れ、財産を強奪し、支配するというテロ組織もいます。

これらの解決策はあるのでしょうか。

ロータリーは市民運動ですので、政治としての外交ではなく、市民レベルでできることは何なのかを志向しています。まずは相手の人権を認めることから始まるのでしょう。白人だけのシカゴクラブから始まったロータリー活動が世界中に展開される中で、人種差別の撤廃を目指し、女性会員の入会（1989年）が認められる等ロータリーは「人権を認める」努力をしてきました。

その一つが海外との交流です。相手を知る、相手の立場を理解することで折り合えるところも見つけられるものですし、彼らなりの論理があります。相手を知らなければ殺されても他人事ですが、知り合いであれば何らかの感情が湧いてくるものです。

第2710地区でも多くのクラブが姉妹クラブ等で海外クラブとの交流をしています。交流は「助ける」「助けられる」はあるものの会員同士は対等が大前提ですので、相手を認める貴重な機会になるでしょう。

海外との交流の機会として米山奨学生制度・青少年交換事業等があります。彼らにとって人生の重要な部分を異国で過ごすことはこれからの人生に大きな影響を及ぼします。

昨年度ガバナーを拝命し、73クラブの方々との意見交換をしましたが、海外留学経験者・海外生活経験者は多くおられます。そして地区内でも彼らが市民レベルの交流を望み、重要な役割を担っています。例えば、東広島21クラブでは「ボリビア水頭症への医療支援」をしていますが、きっかけはマツダOBで海外営業をしておられた東広島21クラブ元会長の故・大原憲太郎氏と聞きました。豊富な海外経験により広い視野を持つとすれば、海外生活はその人に大きな影響を与えるものです。

小生も外国企業との交渉を何回か経験しましたが、一方的な勝利はありません。折り合えるところがなければ決裂ですが、折り合えるところがあればWIN-WINを目指して協力し合います。そういった体験をしますと「人間はたいして変わらない。与えられた環境（立ち位置）によって考えは異なる。」と気づきます。（そう思わないとやっていけませんが）

前述しましたように成熟した国、日本には多くの海外留学経験者・海外生活経験者がいます。考えようで、彼らは日本の財産です。

米国では日本の米軍基地に勤務していた人もいます。ロータリー世界大会でアトランタを出発する際、空港カウンターで担当者から岩国基地に勤務していたと聞きました。

交流すること、相手を知ることが相手の人権を認めることにつながります。

ロータリーが進めるもう一つのテーマは人権を守る努力です。これはロータリー財団の重点テーマに表れています。この内容は「ロータリー財団」の回に譲ります。

さて人権について最近考えることがあります。それは昨年11月、広島県東広島市で起きた、外国人実習生の女性が生後間もない自分の赤ん坊を、殺して埋めた事件です。同様の事件が4月に岡山県津山市でも起きています。現在、実習生は家族の帯同は許されません。しかし実習生の多くは若者です。若者が集まれば、恋愛もします。その結果、妊娠することもあります。通常であれば仕事ができなくなりますので、帰国することになります。以前、外務省の方に改善を要望しましたが、答えは「受け入れ企業は実習生の人権に配慮すべし」でした。少子化が進む日本で、生まれてくる子供を大事にしなくて良いのか、深刻な課題です。

ロータリー研究会報告

国際ロータリー第2710地区
2020-21年度ガバナー　脇　正典

昨年度まで神戸であったロータリー研究会、今年度は日本ロータリー100周年の祝賀会と合わせて東京で開催される予定でしたが、コロナ禍で中止となり、研究会はZoomでの開催となりました。100周年の祝賀会は5月25日に延期となりました。

研究会前日の11月24日にロータリー財団セミナーがZoomで行われました。今年度はRRFCの田村泰三パストガバナーがお世話されることから、第2710地区の事務局がキーステイションとなりました。地区事務局の皆さんには大変お世話になりました。

翌25日にロータリー研究会がZoomで行われました。午後3時から9時までと長時間の研究会となりました。パソコン画面を見ていたのでさすがに疲れました。RIクナーク会長がドイツから参加されたため、ドイツ時間に合わせて20時から21時までライブで出演されました。

服部陽子研究会組織委員長の開会の言葉で始まり、研究会招集者の辰野克彦RI理事が挨拶されました。ロータリー財団の現況報告を三木明前RI理事、ポリオプラス現況報告と台北国際大会の案内を小澤一彦元RI理事、ロータリー日本財団報告を千玄室元RI理事、ロータリー米山記念奨学会報告を齋藤直美元RI理事が報告されました。その他の報告の後、3つのグループに分かれての分科会がありました。私はグループ1の「魅力ある会員基盤を作ろう」に参加しました。グループ2が「奉仕の機会の扉を開こう」、グループ3が「輝く未来を創ろう」でした。

翌26日にガバナー会議がZoomで行われました。辰野克彦RI理事が現在のRI理事会について話されました。やや衝撃的な内容で、まだ決定ではないが「ロータリーの未来形成」について試行案を話された。日本が1つの地域になり、地区・ガバナーが廃止され、ガバナーはセクションリーダーになるということでした。12月17日に拡大ガバナー会がZoomで開かれましたが、多くのPGは賛同されなかった。日本からのRI理事は1人であり、多勢に無勢のようであり、私から26日のガバナー会で辰野理事には是非頑張って欲しいと申し上げました。

ロータリー財団地域セミナー報告

国際ロータリー第2710地区
ロータリー財団委員長　山本　清

11月24日に国際ロータリー1A・2・3地域2020-21年度ロータリー財団地域セミナーが第3地域ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）田村泰三様の主催で開催されました。本来であれば東京のホテルでの開催予定でしたが、新型コロナウイルスの蔓延によりWebでの開催を余儀なくされました。300～500人規模のWebセミナーは当地区としても初めての試みですので早速実行委員会を立上げ、3日に1度はZoom会議を開き、プログラム、講演依頼、タイムスケジュール等々の打合せをしてきましたが、リアル開催では問題にならない事がWebでは問題になることが色々判明し大変でした。しかし地区事務局員の献身的な努力で何とか開催に辿り着く事が出来ました。

初めての試みで参加人数の心配もしましたが350名の登録を頂き250名の皆様には最後までお付き合いを頂きました。プログラムは田村RRFC、辰野克彦RI理事の挨拶に続き、以下の通り進行しました。

・ラビンドランロータリー財団（TRF）管理委員長講演
・三木明ロータリー財団（TRF）管理委員会特別アドバイザー講演
・松本祐二第3地域ポリオ根絶コーディネーター講演
・アンドリュー・ウォン補助金リソースコーディネーター講演
・「海外クラブ（地域）との交流と国際奉仕事業の促進」のテーマで①D2760RIネットワーキング奉仕グループ委員会委員福田哲三様②D2840ガバナー山田邦子様、③D2650グローバル補助金委員長柳澤育代様④D2710財団委員長山本清の4名による発表とディスカッション

最後に三木TRF管理委員会特別アドバイザーより講評をいただきました。

本セミナーを通じて以下のような情報と示唆を提供させて頂くことが出来ました。

1. ポリオがアフリカ大陸から根絶されたが、新型コロナの影響でポリオワクチン接種に支障が出ている
2. ロータリーの重点分野に「環境の保護」が追加され7つの重点分野となる
3. 新型コロナ対策として災害救援補助金319件720万ドル、コロナ関連グローバル補助金331件720万ドルが使用された。寄付金が10%の上昇でグローバル補助金プロジェクトが80%上昇した為、クラブCashに対するWFの上乗せが無くなった
4. 補助金専門家グループ（Cadre）に入りませんか?
5. ロータリーカード使用でポリオに寄付をしましょう
6. グローバル補助金プロジェクトを成功させるのは実行しようという熱意と努力

他地区からIMやクラブの卓話で使用するためデータを送付して欲しいとの依頼もきております。皆様の今後のロータリー活動、ロータリー財団活動に少しでもお役に立つことが出来ますよう祈念しつつ報告とさせて頂きます。

第3回諮問委員会報告

国際ロータリー第2710地区
2020-21年度　地区代表幹事　松原　博幸

12月16日（水）に防府市での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため前回と同様ZOOM開催に変更となり、定刻15:00より開催した。

脇ガバナーより2020-21年度の現況報告
①会員の動向
2020年7月期首会員数3,154名（内女性会員174名）
2020年10月末現在会員数3,240名（内女性会員175名）
純増86名
※大幅な減少は見られなかったが、若干の減少となっている。
②公式訪問
12月7日（月）にすべて終了。新型コロナウイルスの影響により9RCは中止。
※特に周辺部の小さなクラブは会員減少の危機意識を持っており、ガバナーよりコロナ禍においてはつながりの糸だけはしっかりとつなぎ、退会（休会）される方をなるべく減らすよう提案された。公式訪問中止となったクラブにはガバナーの録画動画を渡し例会等での上映をお願いした。
③奉仕プロジェクト委員会
・社会奉仕委員会
下関西RCCが会員の高齢化・減少の為2020年11月19日付で終結。
2021年2月21日開催予定のRCC地区大会（柳井西RCC担当）は新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止し、活動報告書配布に変更。
・国際奉仕委員会
RI3690地区大会:新型コロナウイルスの影響により参加中止。
台北国際大会:2021年6月12日（土）～16日（水）開催予定。2021年1月末RI理事会にて開催形式等発表予定。
・青少年奉仕委員会
RYLA　日程:2021年5月22日（土）～23日（日）開催予定　場所:尾道ふれあいの里
主管:尾道RC、副主管:尾道東RC・因島RC・瀬戸田RC
詳細な説明を吉原パストガバナーよりお話しいただいた。
インターアクト　日韓親善歓迎式（韓国3690地区IAC来日）及び韓国研修旅行の2行事は新型コロナウイルスの影響により中止。
青少年交換　2020-21年度、2021-22年度ともに新型コロナウイルス終息の先行が見えず中止決定。またR財団委員会、米山委員会のように複数年固定化した委員会構成への見直しを検討中。
④ロータリー財団委員会
・寄付ゼロクラブが9RCあるため、パストガバナーにクラブ会長にお声掛けいただくようガバナーより要請した。12月5日（日）の第3回ガバナー補佐会議でもガバナー補佐に同様の要請をしている。
・ロータリー財団勉強会:2021年1月30日（土）ZOOMにて開催
⑤米山記念奨学委員会
・2021学年度米山奨学生面接選考会:2021年1月17日開催予定
・2020学年度米山奨学生歓送会:2021年2月23日（火祝）開催予定
・2021学年度米山奨学生オリエンテーション:2021年4月11日（日）開催予定
・寄付状況は全国からみると当地区は中間あたりで少し減少方向である
⑥インターシティミーティング
12月16日現在12グループ中5グループ実施予定
⑦地区会計中間報告
中村地区会計長より11月30日現在の資料に基づき説明があった。新型コロナウイルスの影響で研修や地区委員会等が中止または延期になるなど、例年通りに消化していない状況である。
⑧地区大会について
現時点では実施の方向で準備を進めている。12月7日に地区大会実行委員会事務局を開設。
⑨2023-24年度ガバナー推薦
12月28日（月）を期限として地区内クラブに推薦の有無を確認中
⑩その他
・RI規定審議会について2022規定審議会代表議員の田村パストガバナーより報告
・RLIの今後について
大之木パストガバナーよりパート1のみで終了になっている第12期RLIの今後の対処についての説明

杉川ガバナーエレクトより2021-22年度活動についての報告
①組織について
・カウンセラー・各委員長等の紹介
・地区組織図（案）・地区役員名簿・ガバナー補佐名簿
・第1回ガバナー補佐会議　10月3日（土）開催
第2回ガバナー補佐会議　12月5日（土）
ZOOMにて開催
・第13期RLIは新型コロナウイルスの影響により開催中止
②日程について
・公式訪問予定:17か所37クラブが合同開催予定
例会訪問回数53回、例会訪問日数49日（昼夜同日訪問あり）
③IM開催予定:杉川ガバナーエレクトとしては出来るだけリアル開催を希望
④地区資金:会員数は3100名で試算。地区関係負担金は据え置きの予定
⑤PETS&地区チーム研修セミナー:2021年3月14日（日）ZOOMにて開催予定
⑥地区研修・協議会:2021年4月25日　広島国際会議場
⑦地区クラブ活性化ワークショップ:2021年8月22日（日）ホテルグランヴィア広島
⑧ロータリー財団奨学生:11月11日（水）に面接選考を実施し、1名の合格を承認

最後に地区がん予防推進委員会カウンセラーの田原パストガバナーがリキッドバイオプシー（がんの早期発見や個別治療に役立てる画期的な医療技術）の紹介をされた。

以上、用意していたすべての議事が定刻に終了。

特別コラム

先人に学ぶ養生の教え

国際ロータリークラブ第2710地区
がん予防推進委員会　委員　林　弘人

厚生労働省から令和元年（2019）人口動態統計（確定数）が公表されました。令和元年の死亡数を死因順位別にみると、第1位は悪性新生物＜腫瘍＞で37万6425人（死亡率（人口10万対）は304.2）、第2位は心疾患（高血圧性を除く）で20 万7714人（同167.9）、第3位は老衰で12万1863人（同98.5）、第4位は脳血管疾患で10万6552人（同86.1）となっています。令和元年の悪性新生物＜腫瘍＞が全死因に占める割合は27.3%であり、全死亡者のおよそ3.7人に1人となっています。悪性新生物すなわち「がん」が、わが国でこれほどまでに増加の一途を辿っているのはなぜでしょうか。環境汚染がひどくなったから？ がんという病気の悪性度が増したから？ 日本人の体質が変わったから？ いいえ、正解は日本人が長寿になったからです。アフリカでは寿命が50歳前後といった国々が多く、がんで亡くなる方はむしろ少数です。がんは50歳～60歳から指数関数的に増加します。

長寿になってもがんに罹らないようにするにはどうすればよいでしょうか。残念ながら完全にがんを予防する方法は現在のところありません。しかし、罹る確率を減らすことは可能です。国立がん研究センターがん予防・検診研究センター（現：社会と健康研究センター）がまとめた「がんを防ぐための新12か条」が、がん研究振興財団から2011年に公開されました。

「がんを防ぐための新12か条」
1.たばこは吸わない
2.他人のたばこの煙を避ける
3.お酒はほどほどに
4.バランスのとれた食生活を
5.塩辛い食品は控えめに
6.野菜や果物は不足にならないように
7.適度に運動
8.適切な体重維持
9.ウイルスや細菌の感染予防と治療
10.定期的ながん検診を
11.身体の異常に気がついたら、すぐに受診を
12.正しいがん情報でがんを知ることから

「がんを防ぐための新12か条」は、日本人を対象とした疫学調査やエビデンスに基づく素晴らしいものでありますが、江戸時代にも同様の教えがありました。その代表が「養生訓」であります。儒学者であり医者でもあった貝原益軒（1630-1714）によって、健康で長生きするためのエッセンスが書かれた医書であり、当時のベストセラーであったと云われています。エビデンスという概念はなく、平均寿命が40歳を下回っていた時代に、85歳まで生きた貝原益軒が晩年の83歳の時に執筆したとされています。養生の重要性を説いたものから、現代にも通じる食習慣への警鐘、そして当時から有害と考えられていた喫煙への戒めなどが述べられており、「がんを防ぐための新12か条」の礎ともいえる内容であります。

貝原益軒の養生訓に学ぶ食養生（抜粋、一部改変）
1.人の命は我にあり=養生の重要性
2.腹八分
3.薄味淡泊なものを食べ、脂っこいものを食べるな
4.肉を多く食べるな
5.味噌、性和にして、胃腸を補う
6.酒は微酔に飲む
7.タバコは性毒である

個人的には聖路加看護大学学長、聖路加国際病院院長などの要職を歴任された日野原重明先生（1911-2017）の教えを大切にしています。先生に初めてお目にかかったのは19年前で先生が89歳の御年でありました。「成人病」に代わる「生活習慣病」という言葉を提言された先生らしく、まさに養生訓の実践家でありました。エレベーターやエスカレーター、動く歩道は使わず、階段を1段とばしで登ると仰っていました。食事に関しても、朝食はジュースにオリーブオイルを加えて飲み、昼食は牛乳とクッキー、林檎だけで済ませ、夕食は週に2回ステーキを召し上がり、1日の摂取カロリーは1,300Kcalにされているとのことでした。また、週に2度程度インストラクター付きで運動されていたそうです。海外出張も年間数回こなされ、毎回レセプションなどで体重が3kg前後増えるとのことですが、帰国後1週間で元に戻されていたようです。お酒も少量ですが嗜まれ、まさに“微酔に飲む”を実践されていました。もちろんタバコはお吸いになりませんでした。百寿のお祝いの席で揮毫された言葉は「夢」で、“Dream”ではなく“Vision”という英語を充てられていました。先生に若さを保つ秘訣をお訊ねすると、「何歳になっても新しいことにチャレンジすることです」と仰っていました。

貝原益軒や日野原重明先生の生活をそのまま実践することは困難かもしれませんが、「養生の術をまなんで、よくわが身をたもつべし。是人生第一の大事なり」の精神は大切にしたいと思います。

新会員紹介

池田 大造
下関東
2020年12月3日
生命保険業

古田 賢造
下関東
2020年12月17日
車輌等用部品製造販売

倉員 祥子
防府南
2021年1月7日
税理士

横田 芳彦
防府南
2021年1月7日
消防設備業

井上 嘉美
柳井西
2020年12月10日
西洋料理店

成瀬 友之
呉
2020年11月12日
証券業

小川 三四郎
呉南
2020年12月1日
レストラン

フォースター 千代里
因島
2021年1月1日
飲食業

金本 尚也
三次
2020年12月3日
接骨・鍼灸

前田 リエ
三次
2020年12月17日
飲食

謹んで追悼の意を表します

【ロータリー歴】
2020-21年度　ロータリー米山記念奨学会 常任委員長
2019-20年度　幹事
2018-19年度　職業奉仕部会長
2018-19年度　青少年奉仕部会長
【職 業 分 類】
自動車電装品販売修理
山口南　故 **石丸 篤志** 殿
2021年1月5日ご逝去（享年53歳）

【ロータリー歴】
2015-16年度　会長
2012-13年度　地区副代表幹事
地区ロータリー財団委員会 委員長
地区大会実行委員会 大会副実行委員長
大口寄付者（メジャードナー）
第10回米山功労者メジャードナー
22年100%出席
【職 業 分 類】
ビルディング管理
呉　故 **藤井 清実** 殿
2020年11月18日ご逝去（享年67歳）

【ロータリー歴】
1986-87年度　幹事
マルチプル・ポール・ハリスフェロー1回
【職 業 分 類】
穀類販売
三原　故 **真嶋 智** 殿
2020年12月12日ご逝去（享年78歳）

【ロータリー歴】
ポール・ハリス・フェロー
【職 業 分 類】
鶏卵卸業
福山北　故 **山手 和司** 殿
2020年12月7日ご逝去（享年66歳）

国際ロータリー第2710地区 2020-21年度会員増減・出席率（2020年12月度）

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数 年度初 7/1	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会	本年度 退会
1	長門	80.33	19	18	3	1	2
	下関	76.18	45	46	1	1	0
	下関中央	83.19	38	38	8	0	0
	下関東	74.44	56	65	3	9	0
	下関北	89.62	41	43	1	2	0
	下関西	88.93	32	33	0	2	1
	計	82.12	231	243	16	15	3
2	萩	98.46	51	50	1	0	1
	萩東	80.42	25	27	0	2	0
	美祢	67.88	24	23	1	0	1
	小野田	66.25	40	40	2	0	0
	宇部	96.58	42	44	2	3	1
	宇部東	62.63	12	10	1	0	2
	宇部西	88.62	48	49	4	2	1
	計	80.12	242	243	11	7	6
3	防府	91.52	56	59	1	4	1
	防府北	94.85	23	24	3	1	0
	防府南	75.19	40	40	5	2	2
	山口	86.10	40	46	4	7	1
	山口県央	91.64	27	26	1	0	1
	山口南	96.00	44	44	5	0	0
	計	89.22	230	239	19	14	5
4	光	75.11	44	45	0	3	2
	周南西	100.00	54	58	6	5	1
	徳山	100.00	43	44	1	4	3
	徳山セントラル	88.76	22	23	1	1	0
	徳山東	100.00	46	49	0	3	0
	計	92.77	209	219	8	16	6

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数 年度初 7/1	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会	本年度 退会
5	岩国	84.47	63	61	0	1	3
	岩国中央	89.13	38	37	3	0	1
	岩国西	91.84	60	62	5	3	1
	柳井	100.00	31	32	3	1	0
	柳井西	98.86	22	24	5	4	2
	計	92.86	214	216	16	9	7
6	広島	100.00	112	125	2	14	1
	広島安芸	100.00	44	44	3	0	0
	広島安佐	88.20	21	21	1	0	0
	広島東	100.00	105	115	8	14	4
	広島北	98.33	98	101	0	4	1
	広島陵北	99.01	56	55	2	0	1
	大竹	74.83	31	31	0	0	0
	計	94.34	467	492	16	32	7
7	広島中央	100.00	74	74	7	0	0
	広島廿日市	94.46	23	21	1	1	3
	広島城南	100.00	40	39	3	0	1
	広島南	100.00	84	91	0	8	1
	広島東南	100.00	96	94	14	3	5
	広島西南	98.57	71	70	3	1	2
	広島西	100.00	86	89	3	3	0
	計	99.00	474	478	31	16	12
8	江田島	89.76	18	18	0	0	0
	東広島	89.65	26	30	3	4	0
	東広島21	74.47	19	19	4	0	0
	呉	87.84	69	69	1	2	2
	呉東	85.80	33	33	1	0	0
	呉南	91.66	56	56	1	1	1
	西条	99.50	33	33	2	0	0
	計	88.38	254	258	12	7	3

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数 年度初 7/1	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会	本年度 退会
9	広島空港	86.55	28	28	3	0	0
	因島	94.93	16	16	0	0	0
	三原	91.96	57	56	0	2	3
	尾道	82.31	76	84	2	9	1
	尾道東	85.75	55	54	7	1	2
	瀬戸田	66.66	3	3	0	0	0
	竹原	95.72	18	17	3	0	1
	計	86.27	253	258	15	12	7
10	府中	70.63	25	22	2	0	3
	福山	93.20	83	83	0	2	2
	福山東	80.16	47	47	3	0	0
	福山丸之内	95.57	29	29	1	1	1
	鞆の浦	76.44	21	20	0	0	1
	福山REC2710※	86.53	13	13	2	0	0
	計	83.76	218	214	8	3	7
11	福山赤坂	93.84	52	53	5	2	1
	福山北	97.63	38	39	2	4	3
	福山南	89.19	52	56	2	4	0
	福山西	95.54	33	33	2	1	1
	松永	92.23	51	48	2	0	3
	計	93.69	226	229	13	11	8
12	吉舎	98.32	14	14	0	0	0
	三次	84.53	35	39	1	5	1
	三次中央	87.48	38	40	5	2	0
	庄原	90.31	31	31	5	3	3
	東城	85.98	18	18	1	0	0
	計	89.32	136	142	12	10	4
第2710地区計		89.05	3154	3231	177	152	75

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」

Rotary District 2710

2020-2021
国際ロータリー第2710地区

地区大会 in防府

2021. 5.15(土)・16(日)

国際ロータリー第2710地区
2020-2021年度ガバナー …… 脇 正典

ホストクラブ …… 防府ロータリークラブ

1日目 **5.15(土)**

大会諸委員会、歓迎昼食会、会長幹事会、基調講演
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
日韓交流パーティー【防府グランドホテル】

2日目 **5.16(日)**

本会議、記念講演会「東京大学史料編纂所教授 本郷和人氏」【防府市公会堂】
大懇親会【ソルトアリーナ】

記念講演

東京大学史料編纂所 教授
本郷(ほんごう) 和人(かずと)氏

編集後記

山口県防府市立向島小学校の正面玄関南にどっしりと構える県指定天然記念物の寒桜が「蓬莱桜(ほうらい)」の名で2018年に新品種として認定された。

約100年前の卒業生が植樹したと伝えられ、DNA解析の結果、類似する既存品種が存在せず、ここでしか見ることのできない桜の名所として、3月中旬の開花期には、大勢の見学者が訪れる。

多くの卒業生たちを見守り続けてきたこの蓬莱桜は、高さ約9メートル、幹周2.8メートル、枝張りは最大約18メートル。その堂々とした樹形とは正反対に繊細で鮮やかな淡紅色の花を咲かせ、見る人の心を和ませる。

目まぐるしいスピードで変化する日常のなかで、ちょっと立ち止まり、ホッとすることのできる貴重なひとときである。

入江弘幸